

2 月 24 日 : VN インデックスは 13 か月ぶりの安値

VN インデックスは昨日 3.19%下落し 903.34 ポイントで引け、昨年 1 月以来の安値を付けた。

下落幅も今年 2 番目の大きさとなった。1 週間のテト明け後、1 月 30 日にコロナウイルスの拡大懸念から 3.22%下落して以来の水準となる。

ベトナム最大の市場で VN インデックスを算出しているホーチミン取引所では、330 銘柄が下落したのに対し上昇したのは 42 銘柄のみだった。

売買代金も急増し、4.16 兆ドン（1 億 79 百万ドル）となり、過去 3 週間で最大となった。先月の平均売買代金は 1 日当たり 2.6 兆ドン（1 億 12 百万ドル）だった。

大型株上位 30 銘柄で構成する VN30 指数は 3.62%下落し、構成銘柄すべてが下落した上、うち 6 銘柄は制限値幅いっぱいまで売られた。

ベトナム第 2 位の電力会社であるペトロベトナムパワー（POW）は、7%安と制限値幅いっぱいまで売られた。

大手建設会社のコテコン建設（CTD）、不動産デベロッパーの FLC ファロス（ROS）も 6.9%下落して引けた。

他にも大手証券の SSI 証券（SSI）、大手銀行のテクコムバンク（TCB）、中堅銀行の VP バンク（VPB）なども値幅制限いっぱいまで下落した。

これら銘柄は大手国営銀行の動きに追随した。資産規模で上位 3 行に入る BID、CTG はそれぞれ 6.5%、5.6%下落し、MBB は 5.2%下落した。

ベトナム最大のコングロマリット企業で、ホーチミン市場で最大の時価総額を有するビンググループ（VIC）は、2.4%下落した。子会社の住宅デベロッパーであるビンホームズ（VHM）、小売のビンコムリテール（VRE）は 2.4%、4.4%それぞれ下落した。

他には大手保険会社のバオベト（BVH）が 4.3%、国営石油会社のペトロリメックス（PLX）が 4.2%、大手 IT 企業の FPT が 4%下落した。

格安航空のベトジェット (VJC)、民間銀行のエクシムバンク (EIB)はそれぞれ 0.5%、0.6%安と下げ幅は限定的であった。

中小型株中心のハノイ取引所では、HNX 指数が 3.78%、UPCOM 指数は 1.9%下落した。

外国人投資家は 10 営業日連続で売り越し、売り越し額は 500 億ドン (216 万ドル) となった。

しかしながら、ホーチミン市場ではビンググループ (VIC) やベトコムバンク (VCB) など買い越しとなった銘柄もあった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。